

令和5年度 事業所職員向け【いろは】放課後等デイサービス 評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等入居の関係で適切である	7			動きまわる子を訓練室、おもちゃ等などで遊ぶ子を支援室など子供たちの遊びに応じてスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切である	5	2		ほぼ適切であるが、一時的に手薄になることがある。それでも、役割分担して回っていると思う。送迎などで不足の場合がある。状況によって少ない配置の時もあるが、みんなでカバーして対応できているのがとても良いと思う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4		エレベーターの閉まる時間が短いので、車いすでの移動が大変。挟まりそうになる事がある。段差も高さがある。越えられないわけではないが段差はある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返）に、広く職員が参画しているか	7			職員間で、振り返り→次はこうしてみようかと話し合いをしながら取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用するによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	⑥	この自己評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	3	第三者評価はしていません
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			できるだけ参加できるようにシフト調整をしている。全体会議後など時間をとるようにしている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		担当スタッフが休みの場合もみんなでカバーしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		未1
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		昼から勤務のスタッフは知らない場合もある。公休をとっていたスタッフにも出来事を伝えていく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		日々の個々の事で気になっている事はメモしておき、会議の際に提起している。毎日時間を設けてはいないが、その都度共有している。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			支援記録を項目分けして毎日記載しています。

令和5年度 事業所職員向け【いろは】放課後等デイサービス 評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6			未1
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			児発管又は保育士等が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻確認）等連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			送迎時や学校主催の聯拓会に参加し情報共有等を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		医ケア児なし 未1
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			事前に電話するまたは訪問し連携をとれるよう対応しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか	4	2	1	支援対象児が小学校高学年程度のため、卒業後の移行実績はないが、必要性があれば提供する。
関係機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		連携をとり、提案等も行っていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5	1	公園などで、地域の小学生と鬼ごっこなどを一緒にする機会があった。交流が少ないため、増やしていく。機会に参加したことがない。未1
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	7			子ども部会の作業部会である医ケア班、福祉班共に参画しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎などで話をする。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	3	わからない 未1
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	1	活動と合わせて、日ごろの様子を見てもらう機会をもち、その中で保護者会の時間を持っている
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			気が付けていきます。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎月1日におたよりの発行し、その中で活動スケジュールなど記載しています
	㉟	個人情報の取扱いに十分注意している	7			

令和5年度 事業所職員向け【いろは】放課後等デイサービス 評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			伝え方などをその方に合わせて変えたりしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	1	マンションの一室での運営のため、招待することはないが、お散歩など地域の方々との交流を図るようにはしている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		各種委員会の開催後、ホームページやおたよりなどでお知らせしていきます
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			年に2回の訓練や活動の中で防犯、防災に関する理解を取り入れている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			協議会等が開催する研修会に参加した職員からの伝達交流を行い、職員に周知できるよう機会を設けている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス支援計画に記載している	7			該当する児童はいないが、必要があれば保護者と連携をとりながら対応していく
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	該当児なし 未1
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			アレルギーの利用児が現在いない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。